

（様式第3号）

## SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
人権・労働		【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	雇用・教育・採用・福利厚生において差別のない体制を整えている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7		
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	パート社員・正社員含め全従業員が経営陣に直接相談できる体制がある					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	高生産機器・効率的な業務体系により、残業の極小化に取り組んでいる									8.5 8.8								
		●【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	現在外国人登用は無し。国籍性別年齢等による待遇等の格差は無し。国籍関係なく経営理念の教育、安全衛生教育の徹底など、育成や労働環境の整備を行う。				4.4					8.7 8.8		10.2 10.3						
		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	業務マニュアルを制定しており、安全面の教育・監督の周知徹底をしている								3		8							
		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	役員含め定期的に話し合いの場を設け、公私における相談が出来る環境がある。								3									
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	女性管理職の登用を積極的に行っている					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3						
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	県外及び海外での研修機会に積極的に参加している				4	5.5				8	9							
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	労働基準法の改正内容を絶えず把握し、法に沿った対応を心がけている						5.5			8.5		10.2 10.3						
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	自社にフィットネスフロアと機器等を配備し、健康増進に努めている。								3		8							
環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物の細かな分別と適正処理に努めている											11.6	12.4		14.1			
		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	毎月の使用量を把握し、検証している									7.3				13				
		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	創業時より不要な電源・燃料等の徹底した削減に努めている									7.2 7.3				12.4	13.3			
		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	法で定められた有害物質を把握しており、使用量の削減又は使用を禁止している							3.9		6.3			11.6	12.4				
		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	生物の多様性や生態系の現状を把握し、影響がない資材の使用に努めている									6.6						15		
		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	用紙等のリサイクルを行っており、既存商材などの再利用を顧客に勧めている													12.5	14.1			
		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	水道利用量の確認を定期的に行っており、使用量の削減に全社で徹底している。3日以上の上の休業日の場合全社屋の元栓を締めている									6.4 6.6								

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																							
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	(予定)取得を検討する			3.9				6	7					12	13.3	14	15			
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	(予定)環境保護の取組みについて自社WEBにて公開する													12.6						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	(予定)社屋所有者と連携を図り、利用を検討する							7.2								13				
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	(予定)グリーン認証資材を活用する													12.2	13	14	15			
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	経営理念及び就業規則に沿って業務マニュアルに明記し法令順守を周知徹底教育している。																		16	16.5
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	経営理念及び就業規則に沿って業務マニュアルに明記し法令順守を周知徹底教育している。																			16
24	公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	業務マニュアルに明記し、法令順守を周知徹底教育している。									8.2	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報マニュアルを制定しており、周知徹底教育をしており、厳格管理に努めている																			16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	(予定)機材納入業者へ使用機器などで紛争鉱物の取扱いを依頼し確認する																			16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	(予定)各社へ取り組み状況の依頼・確認をする					5				8		10			12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	業務マニュアルに制定しており、成果物の活用時の安全教育をしている			3.9											12.4					
29		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	検査体制を構築しており、ミス・ロスの削減に努めている																			9
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	大型出力物に使用される石油製品の削減に取り組み、リサイクル可能な資材の使用と開発に努めている							6							12	13	14	15		
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	(予定)3Dプリンター・スキャナーを活用し、社会・顧客の省力化・合理化・非属人化に取り組む		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																									
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
																														
32		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	会社・組織・人材としてのミッションを制定しており、教育と周知徹底を図っている					4								9		11	12			14	15			17			
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	(予定)学生の職場体験・インターンシップを提供する					4											11						14	15			17
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外販）している	チャレンジ	(予定)県産木材を活用した販売促進物の製作を推進する													8	9		11	12	13								
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念を明文化し明言しており、経営理念をベースに経営者含め全従業員の指針・判断基準としている													8	9											17	
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	経営理念にも明示しており、法令順守の徹底教育を行っている																									16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	定時会議により全社員に対し実施。役員を中心に体制を整えている																									16	
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	適時コミュニケーションをとり、自社の活動が及ぼす影響をはあくいており、対応に努めている																								16	17	
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	経営上・業務上のリスクを特定しており、全社共有している																									16	
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	業務マニュアルを制定しており、周知徹底をしている																									16	
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	(予定)BCP策定の取組みを行う															9		11			13	13.1			16		
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	代表取締役の不測の事態が発生しても、企業が存続発展する人材が居る													8	9											17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)